

平成28年度 静岡大成中学校 自己評価率比較表

評価項目	自己評価率					
	前期		後期		平均	
	A	B	A	B	A	B
1 授業力を高めて学習意欲を育て、基礎学力の定着と自学自習力を強める。						
① わかる授業を実施し、学習内容の定着化とともにそれを活用する力を育てる。	18%	64%	42%	58%	30%	61%
② 授業の規律を整え、落ち着いた学びの環境をつくる。	45%	45%	58%	42%	52%	44%
③ 研究授業・公開授業に積極的に取り組み授業力の向上に努める。	0%	55%	8%	58%	4%	57%
④ 生徒による授業評価を真摯に受け止め、授業の改善に努める。	18%	36%	42%	50%	30%	43%
⑤ スリーライトクラスの充実に努め、それぞれの目標を達成できるように取り組む。	18%	27%	17%	50%	18%	39%
⑥ 級別テストや朝自習の充実に図り、計画的に取り入れる。	36%	36%	42%	33%	39%	35%
⑦ 校務電子化に伴いデータ入力は責任をもって処理する。	55%	45%	75%	25%	65%	35%
⑧ ICT教材の授業活用を推進する。	18%	36%	25%	50%	22%	43%
2 心身を鍛え何事にも粘り強く果敢に挑戦するたくましい生徒を育てる。						
① 生徒会活動や部活動などを通して、集団への帰属意識を育てる。	27%	64%	50%	33%	39%	49%
② 委員会活動や学校行事などを通して、生徒の自治意識の向上を図る。	27%	64%	33%	42%	30%	53%
③ 運動・スポーツを通して、自らの健康を保持促進させる実践力を養う。	18%	27%	25%	50%	22%	39%
④ 地域や学校外活動への参加を通して社会性を身につけさせる。	18%	45%	17%	58%	18%	52%
⑤ 資格取得に励み挑戦する意欲や、物事をやり抜く力を育てる。	9%	45%	17%	58%	13%	52%
3 生徒一人ひとりの能力と適性が最大限に生かせる進路実現に努める。						
① 第1学年は自己の適性や将来への希望を生かした進路実現計画をつくる。 第2学年は目標達成のための学力の充実と、保護者への的確な進路情報の供給。 第3学年は目標達成のために最大限の能力を発揮させ、進路・自己実現を図る。 また、進路情報や知識の習得に努め、生徒や保護者に的確な情報を伝え、進路実現に向けた支援体制を強化する。	36%	36%	25%	58%	31%	47%
4 基本的な生活習慣と規範意識を確立させ、豊かな人間性を養う。「衣を正し、時を守り、場を静め、礼をつくす。」						
① 3マナーアップ指導を心掛ける。	36%	55%	33%	58%	35%	57%
② 社会や家庭・学校のルールを遵守を示し、反社会的行為の未然防止に努める。	27%	64%	33%	58%	30%	61%
③ 挨拶の励行、品位ある服装や態度を身につけさせる。	27%	45%	33%	58%	30%	52%
④ 健康管理、規則正しい生活習慣の確立とともに遅刻者撲滅に向けて取り組む。	27%	55%	25%	42%	26%	49%
⑤ SNSやLINEなど情報伝達手段の使用についてのマナーを指導する。	18%	18%	25%	42%	22%	30%
⑥ 生徒の変化に気を配ると共に、教員間で常に情報を共有できる体制をつくる。	9%	64%	42%	33%	26%	49%
5 生徒や保護者が誇りや充実感のもてる教育を実施し、外部に効果的に発言する。						
① PTA行事・地域交流に積極的に取り組む。	9%	45%	25%	17%	17%	31%
② 教職員研修を通して、教員として資質向上を目指す。	9%	91%	25%	75%	17%	83%
③ 本校の情報を外部に発信する広報活動に全職員が力を合わせて進める。	36%	36%	50%	33%	43%	35%